

日本ユーラシア協会とは
旧ソ連邦に住む諸国民
との相互理解と友好を
進める（旧）日ソ協会
の後身組織



НЕТ ВОЙНЕ!

日本とユーラシア Япония и Евразия

愛知版 NO.678

HP: <https://eurasia-aichi.beet.jp>

ニュース、投稿は下記へ
〒461-0004
名古屋市東区葵1-22-26
日本ユーラシア協会愛知県連合会
電話 052-508-4368
Mail: eurasia_aichi@yahoo.co.jp

第71回 日本ユーラシア協会愛知県連総会にあたって

日本ユーラシア協会愛知県連会長 杉浦 一孝

日本ユーラシア協会愛知県連合会は、翌6月7日（日）に第71回総会を開催いたします。

ロシアのプーチン政権によるウクライナ侵略は、4年以上が経過した今も続いています。プーチン政権は、ロシア国内では、この侵略戦争を続けていくために、人権を無視した憲法違反のあらゆる法的手段を使って戦争反対の声を徹底的に封じ込めています。

これに加えて、アメリカ合衆国のトランプ政権とイスラエルのネタニヤフ政権は、国連憲章と国際法を完全に無視して、イランに一方的な軍事攻撃を行いました。これも侵略戦争です。

このように、昨今の国際政治の場では、覇権主義的な大国の権力者（独裁者）たちにより、第2次世界大戦後に悲慘な戦争への反省から国連憲章・国際法にもとづいて確立された世界の平和秩序が暴力的に破壊され、代わって「力による支配」が打ち立てられようとしています。

しかし、これらの蛮行に異議申し立てをする市民の声が各国で発せられ、早く侵略戦争を終わらせるために、これに反対する多くの国の政府や、政権が侵略戦争をはじめた一部の当該国の市民の動きも活発化しつつあるように思われます。私たちも、国内でも人間の命と尊厳を蔑ろにする権力者（独裁者）たちによる侵略戦争に強く反対し、引き続き抗議の意を表明していきます。

激動する国内外の情勢のなかで、私たちは、当協会の活動を進めていかなければなりません。次年度の活動方針を決める第71回総会にぜひご出席を賜りますようお願い申し上げます。

第71回愛知県連総会にはこちらのQRコードからお申込みできます。（5月27日締切）



2026年6月7日（日）愛知民主会館2階ホール

12:00 開場・ピロシキ販売開始

13:00 記念講演 山崎タチアナ「いくつのふるさと（ことばの空間）」

14:15 総会 16:00 終了予定

第71回愛知県連総会 活動方針案

はじめに

2025年をふりかえり、「平和・人権・民主主義」の大切さが一段と明確になった一年でした。米トランプ政権は、ウクライナ戦争の和平に向けて当初は積極的な関心をみせたものの、現在至るまでいまだに停戦は実現していません。パレスチナ・ガザ地区においては停戦合意後もイスラエルによるジェノサイドが続いています。そして、トランプ大統領自身が「国際法は必要ない」と公言し、2026年1月にベネズエラを急襲して大統領を拉致、2月末にはイスラエルと結託してイランを先制攻撃し、イランの最高指導者を暗殺、政治指導部を壊滅させ、イランとの間で戦争に及んでいる始末です。これらの戦争では、多くの無辜の市民が犠牲を強いられており、一刻も早い停戦・終戦の実現と、これ以上の人命と生活が失われないことを世界中の良識ある市民が願っています。

一方、日本では、高市首相による「台湾有事」発言に始まり、ペルシャ湾への自衛隊派遣の「下心」、防衛予算倍増、武器輸出制限撤廃など、日本国憲法の平和主義に反する政治動向が見られます。また、世界中あちこちで起こっている戦争がもたらす資源不足や環境破壊により、私たちの暮らしは一層困難なものとなっています。しかし、2月の総選挙で現在の政治権力を選択したのもまた私たちなのですから、私たちは現在と未来に大きな責任を負っていることも自覚しなければなりません。今後はますます世界が混迷を深めていくなかで、私たちはユーラシア諸国の平和を願う市民との友好の輪を広め、戦争も独裁もない世界（No War, No Kings）を目指していくべきだと考えます。

以下に本年度の活動方針（案）を提案いたします。活発な議論がなされ、実り多い総会となることを期待いたします。



1 ロシア語教育・普及活動

ロシアのウクライナ侵攻から早くも4年、依然として解決の目処が立ちませんが、それでも新しくロシア語を始める方、ずっと継続して学習を続ける方をお迎えして新学期を始めます。

4月からの学期が200期（これは3ヶ月単位だった以前の学期も含めていますが）10月には201期を開講します。相変わらずの愛知県連の財政難の中でロシア語講座が続けてこられたのはベテラン講師のみなさんの熱意と献身のおかげですが、月日は流れ、高齢化や健康問題も懸念されていますので今年度は新しい講師の採用を目指します。5月と10月にはロシア語能力検定試験の実施に協力、その直前には3・4級受験対策講座を開きます。

またユーラシア諸国の方をゲストにロシア語を聞いたり話したりする場としてロシア語サロンを開催し、サロンの番外編として「サモワールお茶会」を開いて、サモワールを使ったり、ロシア風のお茶菓子や料理を味わったりして「楽しくロシアを知る」体験をする場を提供します。いずれも会員受講生以外の参加も歓迎し、日ユ協会の活動を体験していただいています。



2 文化交流活動

協会活動における文化活動の基本はユーラシア諸国の芸術を会員の皆さんにお届けすることです。ロシアのウクライナ侵攻は未だ終結に至らず、アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃と周辺国を巻き込む反撃が始まり、世界はますます争いと混乱の中に陥っています。

そのような中でも文化芸術は国境を越えて人々をつなぐものだと考え、2026年度も文化交流活動を続けてまいります。

2025年度の活動としては、12月7日の第27回ユーラシアフェスティバルでは会員のフルーティスト、松坂仁さんのフルートと上村啓子さんの琴の演奏を行いました。美しいフルートと琴の音色のコラボレーションは聴衆の皆様にたいへんご好評をいただきました。

また、年明け1月7日には名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター創立10周年記念事業トーク&コンサート「ドミートリー・ショスタコーヴィチ 引き裂かれた栄光」の後援をいたしました。名古屋外国語大学学長の亀山郁夫氏（愛知県連顧問）の講演と、田中正也氏のピアノ演奏、お二人のダイアログという充実した内容で開催前から期待が高く、会場は満席。また次回があればより多くの会員の方に聴いていただきたいと思いました。

会員だけでなく、愛知県連の活動をより多くの方に知っていただけるよう集客力のある「宗次ホール」への企画も提案したいと考えています。文化芸術活動の企画提案がありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。平和への想いを皆さんで形にいたしましょう。



3 平和のための活動

2025年は戦後80年、被爆80年の年として多くの場所で平和の尊さが語られました。愛知県連でも、6月の第70回愛知県連総会において日本原水爆被害者団体協議会、愛知県原水爆被害者の会から金本弘氏、水野秋恵氏を招いて講演をしていただき、8月の平和のための戦争展では、金本氏の指揮のもと、合唱団ミール有志と一緒に「原爆をゆるすまじ」を歌う企画をもちました。10月には第35回ロシア兵士墓地慰霊祭を催行し、2022年以降控えていた在大阪ロシア総領事を正式に招待しました。総領事の招待については理事会・常任理事会で事前に十分な協議を重ねました。当日は悪天候のなか、厳戒態勢で臨んだ慰霊祭でしたが、名古屋ハリストス正教会、あいちロシア協会、合唱団ミールの参列のもとで大過なく終えることができました。

2026年度も引き続き、平和を願う市民の連帯を広げる活動を行っていきます。今年とはとりわけ8月の平和のための戦争展で「平和を願うロシア語の声」という在日ロシア語圏出身者の団体と共同で展示・講演会を企画しています。10月には第36回ロシア兵士墓地慰霊祭を催行する予定です。





4 組織財政の活動

組織の維持強化については、2025年度に理事長と事務局員の交代が行われ、新たな体制の下で県連活動に臨みましたが、それぞれの事情から限られた時間を融通して行うボランティア活動のため、事務所の開所日をロシア語講座のある週3日（水・木・土）に縮小せざるを得ませんでした。会員のみなさまにはご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いします。

県連の会員数は2024年度から40名減少して170名となりました。コロナ禍やウクライナ戦争による会員減少には一定の収束がみえてきたものの、高齢化による「引退」が今後も増えていくことが予想されます。昨今の物価高もあり、継続して現在の会員規模を維持していくことは容易ではありません。

引き続き、新規会員拡大の努力を怠らず、会員の創意が活かされる魅力的な活動を増やしていくつもりです。

財政の健全化については、2025年度の財政状況は、コロナ禍以前へと回復することができました。

その要因としては、ロシア語受講生の増加、徹底した経費削減があげられます。

2026年度は、本部納入金が値上げされ、県連財政の圧迫は避けられませんが、そうしたなかでも徹底的に無駄を省き、ロシア語講師の講師料と事務局員の交通費をコロナ禍以前の水準に戻します。



5 宣伝活動

2025年4月からの1年間に、毎月1回、計12回機関紙の発行を行いました。

これまでは担当者1名による専任体制で機関紙の編集・発行を行っていましたが、事務局が編集方針の作成、記事の募集を行い、編集担当者がデータの作成、編集を行う体制に変更しました。

また、従来の文字サイズでは字が小さすぎて読みにくい、縦書きではロシア語・英語の表記が難しいという課題がありました。そのため文字サイズを大きくし、2026年1月号からは横書きの紙面構成に変更しました。この間、編集担当者の変更もあり、印刷サイズやデザインの改善に取り組んでいます。

新年度も、引き続き読みやすい紙面作りを心がけ、事務局と相談しながら、ロシア語講座受講生や会員の原稿で多彩な紙面を展開していけるよう取り組みます。

ホームページについては4月、10月に開講するロシア語講座情報の公開、これに伴うお問合せフォームの更新を中心に取り組んでまいりました。また、お問合せフォームからの迷惑メール投稿への対策を行いました。

なお2022年8月にホームページをリニューアルして以来、更新がされていないページがいくつか存在しています。新年度は、各担当者と相談しながらこうしたページの更新を行います。そして、協会に興味を持ってもらえるホームページの実現に取り組んでいきます。



6 物販販売活動

昨年の我々の活動方針は、現状維持でした。ここ数年、ロシアによるウクライナ侵攻を始めとする世界的な経済活動の鈍化、数年来の円安の影響から、物産の仕入が非常に困難な状況が続いています。昨年は販売する物産品を大きく絞り込み、ジョージア(旧グルジア)ワイン、ユーラシアフェスティバル時の黒パンなど、会員の皆様から長年のご愛顧と高い需要をいただいた物産品のみとすることで、年度内に仕入分の全てを完売することができました。これも、ひとえに会員の皆様、そしてユーラシア、ロシア語に興味を持って協会に足を運んでいただいた方々のおかげです。協会事務所とロシア語教室が整頓され、可愛いマトリョーシカなどの既存販売品が目にとまりやすくなったことも大変ありがたく思っています。

26年度も先述したような厳しい仕入状況は続くと思われますが、引き続き会員の皆様、協会行事や催しに足を運んでいただいた方々のご期待に添えるよう、需要の高い商品仕入れを続け、新たな物産品を模索する所存です。赤字を出さず、年度内完売を目指すことが、今年度の目標となります。



7 料理サークル「ペチカ」の活動

ペチカはもともと料理の好きな会員たちがお料理上手なブレンコワ先生にロシア料理を習いたいとお願いしたことから始まりました。会場は東生涯教育センターの料理室。料理を作り、試食をし、片付ける3時間の間に料理のロシア語を学んだり、おしゃべりもする楽しい例会が続いていましたがコロナウイルス感染を心配して長い間開催できず、その間に事情が変わって会場確保が難しくなり今に至っています。会場を愛知民主会館の会議室やロシア語教室としたことで計画は立てやすくなりましたが、本格的な「調理」はできません。その条件の中で一昨年はロシア語教室での「ブリヌィを焼いて食べる会」、去年は会議室を借りてロシア人シェフのボルシチとピロシキを食べる会（前菜とデザートはペチカ会員が差し入れ）を実施することができました。いずれも15名弱の参加で食事を楽しみながらおしゃべりもできて好評でした。まだ詳細は決ってないのですが今年も秋にはロシア語教室でロシア料理を味わうランチ会かお茶会を開く予定です。





8 合唱団「ミール」の活動

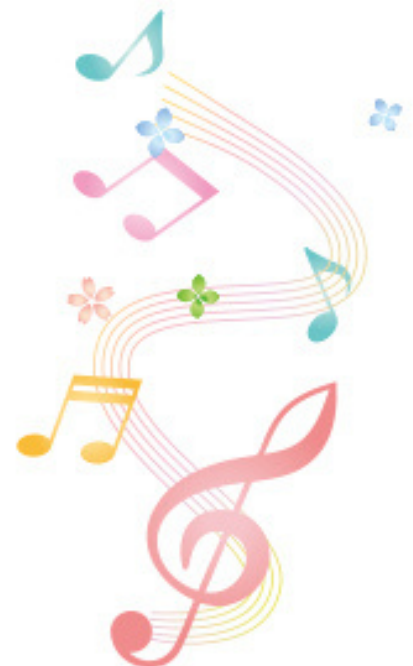
合唱団ミールの1年～歌いつつ祈りつつ～

この1年の活動は、まず平和のための戦争展で被団協の方の講演（8月16日）を締めくくる「原爆をゆるすまじ」の合唱から始まりました。ようやく秋を迎えた10月4日（土）には、平和公園のロシア兵墓地慰霊祭で、日露戦争で捕虜となり祖国に帰ることなく名古屋の地で命を落とした15名の20代の若者の霊に「小さいぐみの木」と「ふるさと」を捧げました。10月26日（日）には栄のオアシスで開かれたワールドコラボフェスタ2025に出演。屋外のステージでいかに歌声を響かせるか、音響を工夫しながら、「さとうきび畑」「百万本のバラ」「ウクライナへの祈り」「祖国」「ふるさと」の5曲を歌いました。

ミールの演奏曲には、いつも平和への願いと祈りが込められています。「さとうきび畑」では、日本の歌をロシア語でも歌う、という試みに挑戦。第二次世界大戦の末期、最も激しい地上戦となった沖縄戦の幾多の死者の無念の声に「ざわわ ざわわ ざわわ」というさとうきびの葉の音を重ねました。「百万本のバラ」では、ジョージアの貧しい画家の恋物語を叙情豊かに歌い、ウクライナの第二の国歌として認められている愛国的な讃美歌「ウクライナへの祈り」は、偉大なる神、唯一無二の神よ、私たちのためにウクライナを守ってください、とウクライナ語で歌いました。「祖国」は、他民族の圧政に苦しみながら生き抜いてきたラトヴィアの人々の誇りに満ちた曲です。最後に大正時代の懐かしき唱歌「ふるさと」を3番はロシア語で歌いました。11月8日（土）には同じ編成でうたの森フェスティバルに出演しました。

総仕上げは12月7日（日）のユーラシアフェスティバルです。これまでの5曲に、新しく「バイカル湖のほとり」を加えました。1825年のデカブリスト反乱の政治囚がシベリアの流刑地を脱走し、バイカル地方の荒れ野をさまよってようやく故郷にたどりつく様子が描かれます。そして最後に山崎タチアナロシア語講師の発音指導とともに会場の全員で「森でもみの木が生まれたよ」を合唱しました。

合唱団ミールの団員は14名。一流の指導者に恵まれて練習を重ねる喜びと共に、一体となって「世界」の「平和」への祈りを歌い続けています。



再びカザフスタンへ① ― 夜明けの仁川国際空港から 会員 白村直也



早朝の仁川国際空港に向かう

2026年4月4日(土)から13日(月)まで、再びカザフスタンを訪れた。前回からおよそ1年。行き先は今回も首都アスタナだ。急速に発展を続けるこの街、をもう一度自分の目で見てみたいと思った。

出発は中部国際空港を19時。21時に韓国・仁川へ到着した。ここで少しハプニング。空港内でホテルの場所が分からず、しばらくさまようことに。人に聞きながら何とかたどり着き、翌朝は早朝便ということもあり、その日はすぐに寝た。4月初旬の韓国は思ったより寒くなく、シャツにジャケットでちょうどいいくらいだった。

翌朝、まだ夜の気配が残る仁川国際空港に向かう。空はゆっくりと白みはじめ、滑走路の向こうに広がる街の灯りが静かに薄れていく。その光景を眺めながら、これから向かうカザフスタンのことを思った。前回の訪問から1年、どれほど変わっているのか。期待と少しの緊張が入り混じる中、アジアナ航空の機内に乗り込んだ。座席は前回と同じく7割ほどの埋まり具合で、中央アジアへ向かう人の流れは静かに続いているように見えた。

持ち物は特別なものはないが、日本円で8万円ほどの現金とクレジットカードを用意。Wi-Fiルーターもレンタルし、プラグなどを含めて10日間で約3万5千円かかった。さらに、訪問先へのちょっとした手土産も空港で購入した。前回の訪問で知り合ったカザフ人とは、この1年、細々とではあるが連絡を取り続けてきた。そのやり取りをもとに訪問先を厳選し、今回の計画を少しずつ組み立てていった。

今回の目的は、カザフスタンの教育と福祉の今を見に行くこと。昨年に続く「第2弾」である。それに加えて、ロシアによるウクライナ侵攻が長引くなかで、人々がロシアとどう向き合っているのか、その空気も感じてみたいと思っていた。

これからのコラムでは、現地で見聞きしたことをベースに、カザフスタンの教育や福祉、そして社会の今を、できるだけ分かりやすく伝えていきたい。



ロシア語講座受講生交流会のお知らせ

会話Dクラス受講生 川北 厳己

ロシア語講座受講生を対象に、他のクラスの受講生と交流できる会を開催します。

以前から、ロシア語学習をテーマに他のクラスの方とお話する機会を持てないかと考えていました。この話をクラスメートにしたところ、同じ思いをお持ちだったので思い切って共同で企画してみることにしました。

「他のクラスの授業は？」「良い参考書は？」「格変化を覚える方法は？」など、初心者から上級者まで分け隔てなく情報交換できる場にできればいいと考えております。

自分から話をするのが苦手な方向けにトークテーマもいくつかご用意します。

ぜひ一緒にお話ししましょう！

日時：2026年6月21日（日）13時～（2時間程度）

場所：愛知民主会館3階 ロシア語教室

対象：第198期～200期 ロシア語講座受講生

会費：500円（飲み物代、茶菓子代、会場代として）

申込：Googleフォームからお願いします →こちらのQRコードより
毎週土曜日の15時頃にロシア語教室におります
のでお声がけいただいても大丈夫です。

※切：6/14（日） 会場の都合上、人数が集まり次第募集終了といたします。



祝 日本ユーラシア協会愛知県連合会第71回総会

教え子を再び戦場に送るな

愛知県高等学校教職組合

執行委員長 堀 直予

名古屋市中区新栄一丁目四九一〇

愛知県教育会館五階

☎〇五二―二六一―八一五五

愛知県平和委員会

理事長 小島 俊樹

名古屋市東区葵一丁目二二―二六

☎〇五二―九三一―〇〇七〇

愛知県民主医療機関連合会

名古屋市熱田区沢下町九一三

労働会館本館 3F

☎〇五二―八八三―六九九七

愛知県労働組合総連合

議長 西尾 美沙子

名古屋市熱田区沢下町九一七

労働会館東館 3F

☎〇五二―八七二―五四三三

FAX 〇五二―八七一―五六一八

川瀬歯科医院

院長 川瀬 利治

稲沢市奥田町下二条一四〇八一―五

☎〇五八七―二二―四三六四

日本政府に

核兵器禁止条約の署名・批准を求める

原水爆禁止愛知県協議会

名古屋市東区葵一丁目二二―二六

自治労連愛知県本部

執行委員長 武藤 貴子

名古屋市北区柳原三丁目七―八

☎〇五二―九一六―二二五一

弁護士法人 名古屋北法律事務所

名古屋市北区平安二―一〇―三F

☎〇五二(九一〇)七七二一

ちくさ事務所 ☎〇五二(七四五)二二二七

<http://www.kita-houritsu.com/>

名古屋市職員労働組合

執行委員長 磯村 和佳子

名古屋市中区三の丸三丁目一―一

☎〇五二―九六一―七八二一

生徒一人ひとりを大切に民主的な学校づくりを

名古屋市立高等学校教員組合

名古屋市中区新栄1・49・10 愛知県教育会館内

☎052(261)1117 FAX 052(261)5684

meikouky@aquacn.ne.jp

一名刺広告募集中ー

機関紙の1月号・5月号に掲載する
名刺広告を募集しております。

料 金：一口 5,000円

発行部数：約250部

詳しくは事務所までお願いします。

日中友好協会愛知県連合会

名古屋市千種区末盛通四―一八

☎〇五二―七六三―一一五二

日本共産党愛知県委員会

委員長 石山 淳一

名古屋市中区新栄三丁目二―二五

☎〇五二―二六一―三四六一

URL: www.jcp-aichi.jp/

日本共産党名古屋市議員団

名古屋市中区三の丸三丁目一―一

☎〇五二―九七二―二〇七一

FAX 〇五二―九七二―四一九〇

ホームページ <http://www.n-jcp.jp/>

